

委員会としての意見

ホリデースクール構築に向けては、保護者、社協、スタッフ、ボランティア等、携わってこられた方々の意見をしっかりと聞いて検討すべきであり、コロナ禍を理由に当事業を廃止するのは、急速にことを運びすぎている。日中一時支援事業とホリデースクールの目的は異なっていると理解する。スタッフ不足など、今のままでの運営では難しいが、集団で行う活動の良さなどが生かせる機会であり、障がい児にとっては貴重な場となっている。持続可能な仕組みでの、新たなホリデースクールの構築に向けて再度しっかりと検討すべき。

以上の意見をまとめ付託しました。

反対討論

西庁舎を含め、支所機能を復活して市民

サービスに添えていたいただきたい。石部診療所の病床削減に見られるようにコスト削減目的の財政面を図るのではなく、事業運営として再考いただきたい。

賛成討論

「小学生と中学生の医療費の無償化」については、限られた財源の中ではあるが、「選択と集中」により市民生活に混乱が生じることのない予算編成であることとらえている。人口減少への歯止めに寄与する政策的側面に期待する。

賛成多数で可決

議案第23号

問 国民健康保険事業財政調整基金積立60万6千円について、令和2年度で約4億円あるが、積み立てる根拠と使い道について。

答 例年基金は余剰金の約半分を積み立てるようになっている、今後

の使い道については、令和6年度以降の県下の統一後に湖南市の保険料が大きく上がる可能性があるため、その際の激変緩和策として活用していきます。

反対討論

特定健診同様の検査を定期的な受診される方の情報は、市は主治医からきちんとつかみ、受診率向上をめざし目標達成を「見える化」して、市民への意識改革を願いたい。

賛成多数で可決

議案第24号

問 石部診療所が病床を持ち続けたことが地域医療の邪魔をしたという発言の意味と、医師確保に向けたこれまでの努力について。

答 甲賀圏域として許可されている病床数があり、休床になっていくため、医療を必要としている人に与えられないという意味であり、

医師派遣については、県に要望をし続けてきましたが、平成25年をもって湖南市への派遣は終了となりました。

反対討論

50床以下では到底採算が取れないとのことだが、不採算であっても、市民のいのちと健康を守るための公立診療所として、入院再開は市民の願いである。

賛成多数で可決

議案第25号

問 保健事業費129万7千3百円。滋賀県後期高齢者医療広域連合からの受託事業について。

答 対象者を約1100人として、市の計画に基づいて請求します。昨年度より減額になっているのは、令和2年度からの事業において、既に必要な備品を購入しているからです。

反対討論

保険料は基本的に

年々引き下げられ年金からの天引きで、低所得の高齢者の中には保険料の滞納が生まれている。今後、高齢化が進むもとの、制度そのもののあり方に反対する。

賛成多数で可決

議案第26号

問 地域支えあい推進員業務委託2400万円の市の考え方について。

答 各まちづくりセンターに1人ずつ推進員を配置し、地域の様々な課題解決を地域に住んでいる市民を巻き込んで実行するための旗振り役をしてもらいたいと考えます。目的は、災害対応と高齢者対応です。1人で出来るのかといった問題もあり、今後考えていきます。

万円の予算であり、市直営である石部支所についても人件費を含め同様の予算で運営するとの市長の発言について。

答 民間が出来ることであるので、市直営であっても同じ条件で考えています。

反対討論

地域包括支援センター事業を民間に移行するが、移行期間が短く、2職種での開始、コスト面を重視している部分が懸念される。高齢者が安心して過ごせるよう更なる改善を求む。

賛成多数で可決

議案第27号

全員賛成で可決

議案第28号

全員賛成で可決

議案第29号

全員賛成で可決

議案第32号

賛成多数で可決

問 地域包括支援センター1支所あたり1200